

経営比較分析表（平成28年度決算）

香川県さぬき市 さぬき市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透訓	救臨感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
50,264	14,884	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

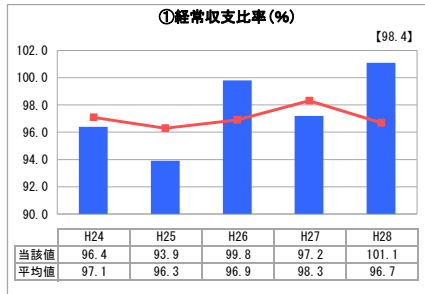
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
175	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	179
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
159	-	159

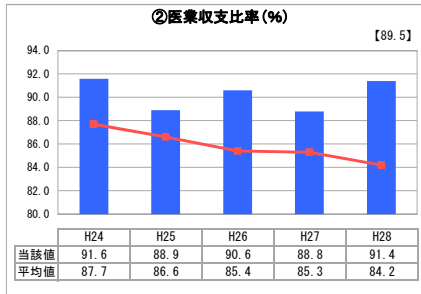
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

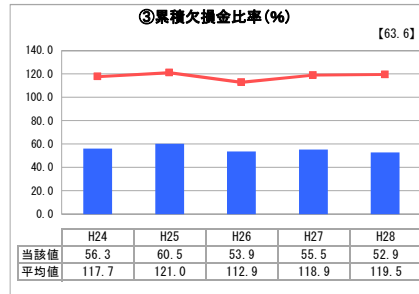
1. 経営の健全性・効率性



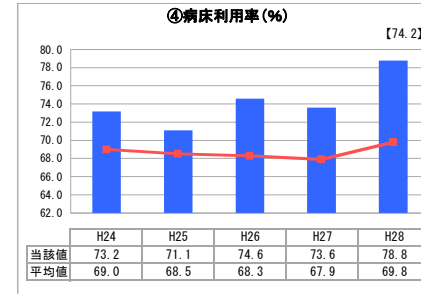
「経常損益」



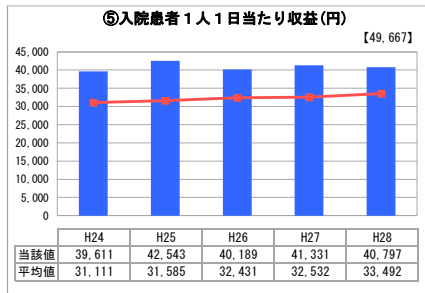
「医業損益」



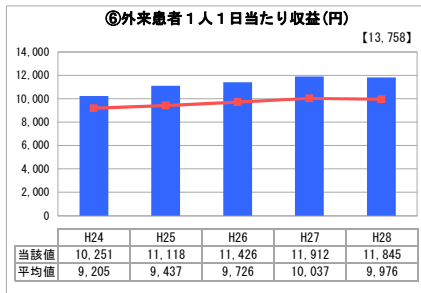
「累積欠損」



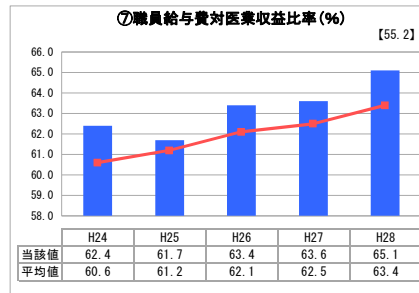
「施設の効率性」



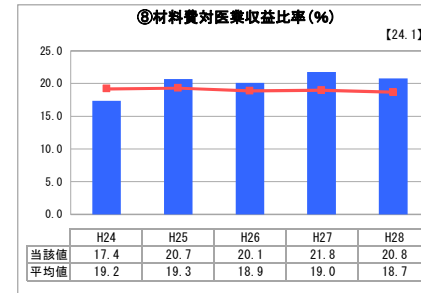
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

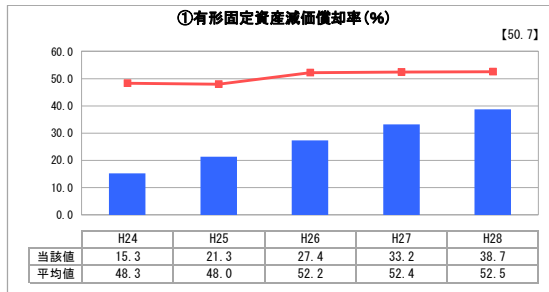


「費用の効率性①」

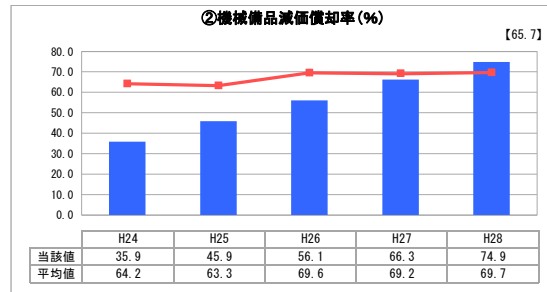


「費用の効率性②」

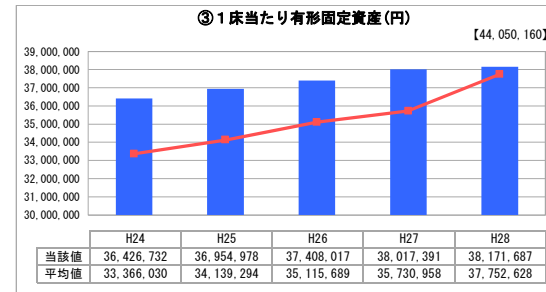
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

公立病院として、救急医療、災害医療、へき地医療などといった政策的医療を提供するとともに、地域の中核病院として、東讃地区における急性期から回復期までの一般診療を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成24年度以降、医業収益は年々増加しており、平成28年度においては、経常収支比率が100%を超え、赤字から黒字に転じた。しかしながら、職員給与費対医業収益率が65.1%と高く、積極的に材料費、経費等の削減に努めたものの、人件費が収益を圧迫する要因となり、医業収支比率は91.4%となった。今後については、中長期的な増収策を検討する上で、費用対効果を十分に考慮しつつ、さらなる費用の抑制を図ることが必要である。

2. 老朽化の状況について

平成23年度に新病院建設に伴う巨額の投資を行ったため、これにより多額の減価償却費を計上することとなった。平成29年度末をもって一定の償却が終了するため、当該年度までは徐々に減少していくものの、耐用年数の経過による高額な医療機器の更新等により、平成30年度以降は増加が見込まれる。

全体総括

病床運営において、病床稼働率、入院単価ともに増加傾向にあるが、高度医療の実施に伴い高額な医療機器を整備していく中で、1床当たりの投資額も比例して増加している。長期的に安定した経営基盤を確保するためにも、既存の限られた医療資源を有効的に利用し、過度な投資を抑えつつ、経営の健全化を図っていく必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。